

排尿の実態調査について

北九州市保育士会

調査の目的

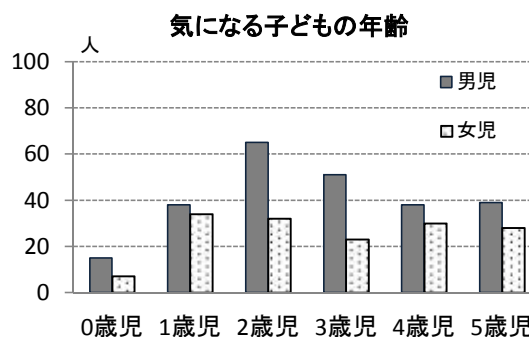
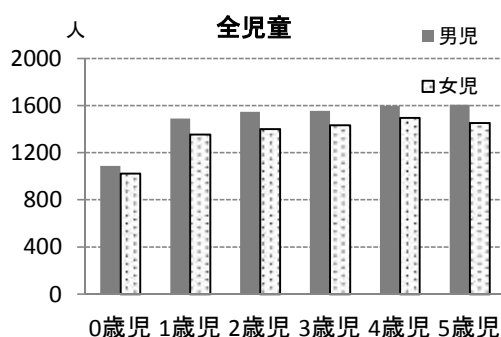
学童期になっても排尿の課題をもつ子どもがいる。乳幼児期の育ちや各園の排尿の取組について調査を行い、関連性を探るもの。

ここでいう気になる子どもとは、排尿に関して課題を持つ子どもをいう。

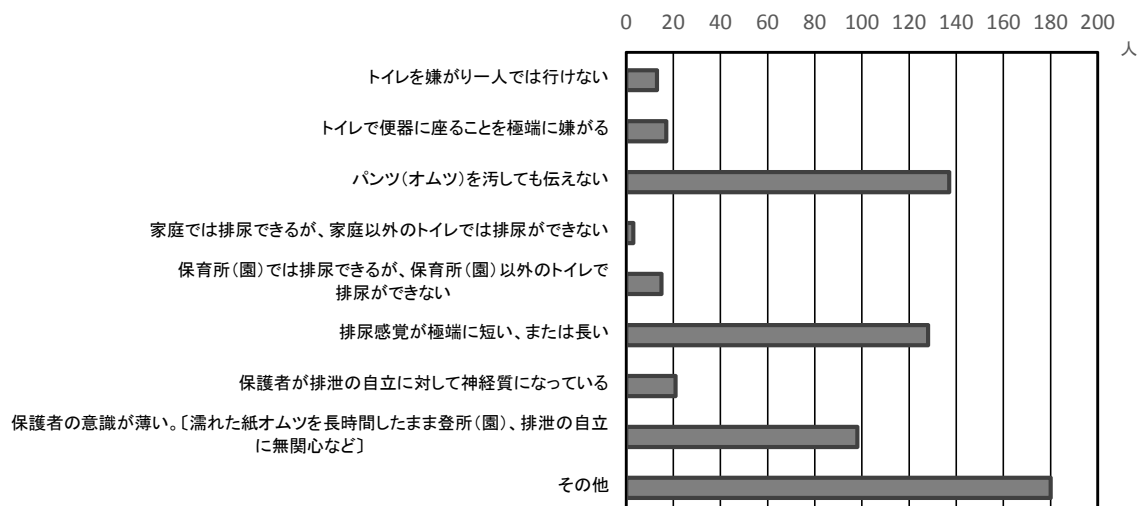
調査の要領

調査基準日 平成25年12月1日
 記入者 保育士
 調査方法 北九州市内全保育所(園)にアンケート依頼調査
 対象 全保育所(園)159か所の園児17,601名(回収率 100%)

年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
全児童	2,162	2,845	2,943	2,991	3,599	3,061	17,601
気になる子ども	22	72	96	74	68	67	399



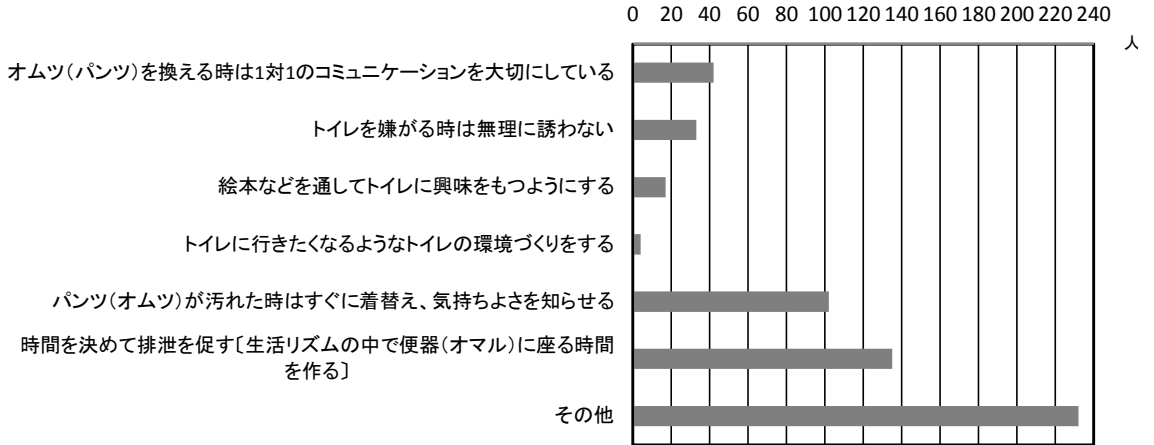
◆排尿に関して気になることはどのようなことですか



その他(回答)

- ・便器でうまく排尿できない(こぼす・ぬらす)
- ・緊張や不安時のみ排尿間隔が短くなる
- ・尿漏れシート使用(5歳児)
- ・我慢してしまう 等

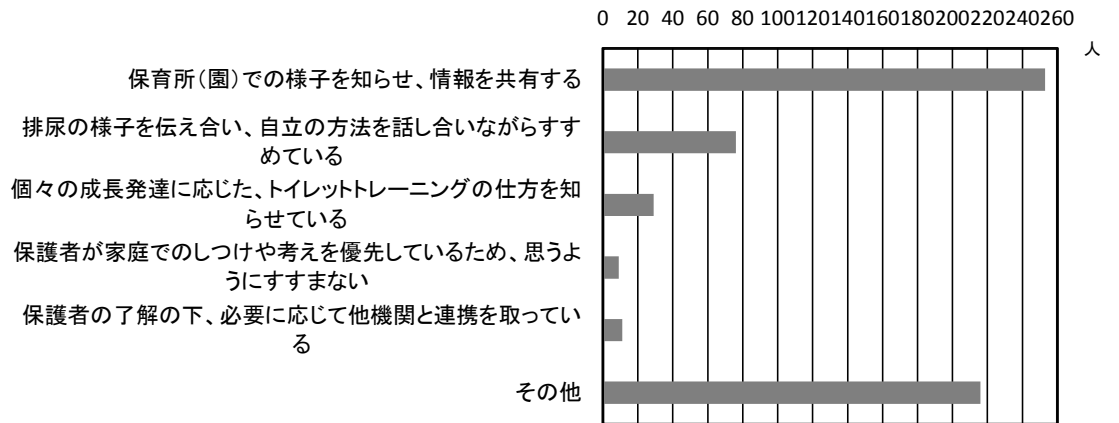
◆気になる子どもに対してどのような対応をしていますか



その他(回答)

- ・保育所(園)ではできるだけパンツで過ごす様にする
- ・失敗したときはなるべく周りに気づかれないよう処理し不安を与えない
- ・行事など緊張しないようゆったりと関わる
- ・午睡の前にトイレに誘う・水分補給量に配慮する
- ・一緒にトイレに行く(5歳児一人でいけない) 等

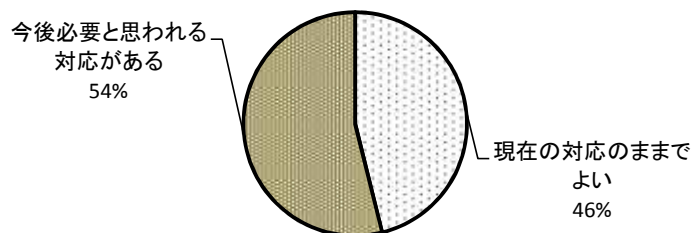
◆保護者に対してどのような対応をしていますか



その他(回答)

- ・園医のアドバイスを伝え連携を図っている
- ・保護者の了解を得て着替えの許す限りパンツで過ごし、失敗が続くときは紙パンツにする
- ・保護者と協力しながら自立に向けている
- ・水分補給や体調、服薬等を含め排尿回数を確認をする 等

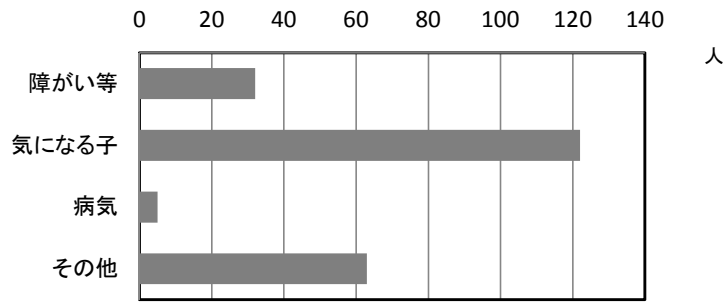
◆気になる子どもに対して、今後どのような援助が必要だと思いますか



今後必要と思われる対応(回答)

- ・保護者との連携を深め、園との共通理解を図る
- ・子どもの小さなサインを見逃さず、職員間で情報を共有して誘いかけていく
- ・様子を見ながら場合によっては医療機関への連携を取る
- ・排尿の有無や汚れた時など、本児自ら伝えてこられるような環境を作っていく 等

◆気になる子どもは何らかの認定・支援・加療を受けていますか



病名(回答)

- ・二分脊椎症(パンツを汚して伝えない 5歳児)
- ・短腸症候群、小腸閉鎖症(パンツを汚して伝えない 4歳児)
- ・結節性硬化症、部分てんかん(パンツを汚して伝えない 2歳児)
- ・膀胱移行部尿管閉鎖のための左腎水尿管症
- ・夜尿症

その他(回答)

- ・低体重出生児(現在標準発達)
- ・子どもより保護者の意識が薄いことが気になっている
- ・保護者が要支援で緊急入所、母親が情緒不安定

◆就寝時に紙パンツを使用している子どもはいますか

